



あけましておめでとうございます。新しい一年が始まりました。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年、日光東照宮に行く機会があり、よく言われる三猿を見てきました。この像は天台宗の教えのひとつで、三諦を申の像として表したものだそうです。申の一生が描かれている像をみながら、今年の申年「見ざる・いわざる・きかざる」のことわざどおり、人の欠点を見たり、言ったり、聞いたりすることなく、人間関係も穏やかで気持ちも穏やかな一年になりますようにと願うばかりです。

さて、昨年を振り返りますと、保護者の方々に助けていただき、さまざまな行事を進めてきました。

ご理解・ご協力に感謝しています。

かえで保育園の取り組みは、子どもたちの可能性を引き出すことを最優先に保育を組み立ててきています。27年度の代表的な遊びでは「泥だんご作り・川作り・野球・積み木・折り紙」等、大人が形や進め方を決めて遊ぶのではなく、楽しく遊んでいるときの偶然から様々な発見のあった遊びを大切に、保育者が仲立ちをして進めてきました。『泥だんご作り・川づくり』では土の山を園庭に入れてから、砂場で遊んでいたときより、やる気や期待感を持って子どもたちがルールを決めて遊べるようになりました。

子どもの時は、出来るだけ多くの出来事に対して考えたり悩んだり泣いたり怒ったりすることを体験しながら進めていくことで、やがて自分でやっていく力がついてきます。今年も保育園生活の中で『考える』事を多く持てるように環境づくりを丁寧に整えていきたいと思えます。

今、子どもたちの本来の姿である『体験から学ぶ』ということが少なくなってきました。

今年度もたくさんの体験が出来るよう考えていきます。

さあ最終学期、どうぞ、保育の見守りをよろしくお願いいたします。

一月末には成長発表会が行われます。この会は劇遊び・歌を演じたり歌ったりすることが目的ではなく、園生活での一人ひとりの成長を喜ぶ会です。お楽しみに！

会の一部・二部の入れ替えの際、昨年から始まりました『保護者の方の演目』があります。

子どもが保護者の方々のがんばっている姿や先生たちと共に演じる姿を見せてあげようと始まった試みです。2回ほど練習しますのでぜひご参加ください。

ご意見

泥だんご大会の期間が伸びた理由は何か？また審査の方法に統一性がない
途中で行事が入ったり天候により期間を延ばしました。これも子どもたちと話し合って延期しました。
最終展示のだんごが期間が長くて一番よい状態でだせなかったことがありました。
今後は保管の仕方に工夫し、子どもの気持ちを大切にイベントを企画していきます。

報告

12月中旬 17時半ごろ、道路にトラックの荷崩れがおきビール瓶が散乱しました。
幸い怪我もなく2時間ほどかかりましたが復旧できました。
今後、このようなことのないよう業者には厳重に注意をして頂き、改善策も提示して頂くようお願いしております。この事故があってトラックの搬入の様子を再度確認しましたが、8:30~9:30の間に車がよく作業をされているようです。保護者の皆様にも再三お願いしておりますが路上駐車されると一車線になり通行の妨げにもなります。飯田物流さんにもご協力頂き園前の道路で事故のないようにするためにも送迎の車は絶対に路上駐車はしないようご協力お願い致します。

にこにこメッセージ

明けましておめでとうございます。昨年もかえで保育園に関わるみなさまと共にこどもたちの成長を見守ることができたことに感謝致します。

私たちの生活に欠かせない物のひとつに携帯電話がありますが、今は多くの方がスマートフォンを使いこなしています。どんな事でも手軽に調べることができ、驚くことばかりです。最近のことですがこどもたちのごっこ遊びの中で私にとっては時代の変化を感じるがありました。今まではおもちゃを携帯電話に見立て誰かと話していたのが、最近では、スマホに見立てたおもちゃをスマホの画面のようにまねっこしながら、誰かとLINE?それともインターネット?ゲーム?が進んでいます。今は遊びの中にも会話はありますが…会話のない、ままごと遊びが広がったらどうなるのだろうと思いました。

こどもが言う事を聞かないからと鬼が出てくるようなアプリなどを親が使用したり、こどもが好きだからとおもちゃ代わりに使用することは、親の都合ばかりが先行されます。

それぞれの生活体験を織り交ぜながらのままごとあそびは家庭を垣間見ることができます。お正月、ゆっくりと家族で過ごされる方、帰省される方、お忙しいご家庭もあることと思いますが、こどもたちの色々な一面を見てたくさん成長を発見してみてください。

また色々なこととお話できたらと思います。今年もどうぞよろしく申し上げます 主任保育士 藤森寿美

～乳児ぐみからのお知らせ・お願い～

- ・ロッカーに肌着や、薄手の長袖シャツの用意をお願いします。
- 室内は床暖房が入ります。
- 厚着はしないでください。

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・夕方は寒くなってきました。
- 上着のご用意をお願い致します。
- *薄手で動きやすいもの（ダウンは禁止）
- *フックにお子さん自身がかけられるように紐が付けられたもの

せんせいからのおはなしコーナー

季節の変わり目で風邪を引きやすくなってきていますね。私は季節の変わり目には喉が痛くなって声が枯れてしまうことが多いです。学生時代の体育祭でも張りきって参加する方だったので、応援で大声を出し、笑って喉を使い、体育祭が終わると声が出ない…なんてことはよくありました。そのときは気にしていなかったのですが、それを繰り返しているといつのまにか今の私の“ハスキーボイス”が出来上がりました。他の人に言われるまでは“ハスキー”という言葉に縁がありませんでしたし、むしろ単語のイメージから「人より高いトーンの声なのかな?」と考えていたほどです。日が経ってからウィキペディアで意味を調べたときはショックを受けたのを覚えています。そんな私の声ですが、「先生らしくていいよ」と言ってくれることが多くて、みなさんの印象の一部として覚えて下さっていることにはとても感謝しています。

保育園内で私の笑い声で「谷角先生はあそこにいるんだ」と声だけでどこにいるのか分かるらしいです。保育園の子どもが時々『あっはっは!!』と笑う声を聞き、豪快な笑い声だなと感じると同時に「もしかして私のまね?」と思うこともしばしばあります。子どもたちは保育者の話し方や声の出し方、表情などをよく観察したり模倣していきます。特に私の笑い声が子どもたちを笑顔にできたり、表情を見てまねる事で「うれしい」「たのしい」「わらいたい」を学んでもらえたら嬉しいです。「笑う門には福来る」という言葉どおり、みんなが楽しく笑って幸せになればいいなと思っています。笑うことでストレス解消になるとも言いますし、これからも“ハスキーボイス”で笑い続け、笑いの絶えない毎日していきたいと思っています。

谷角 早紀

～めばえぐみ～

ねらい：「友だちとの関わりを楽しむ」

う た：「まめまき」「むすんでひらいて」

どんどん寒さも厳しくなり、外で遊ぶのも体をたくさん動かして遊ぶ事が多くなってきました。保育者に追いかけられると、にこにこ笑顔で逃げていくめばえぐみのみんなです。靴を履いて歩く事にも少しずつ慣れてきて追いかけてこのようになってきています。また、自由に好きな所に歩いていけるようになってきていて目を輝かせながら、少しこけそうになってハラハラする時もありますがみんな元気いっぱい遊んでいます。

“えいっ “



外が寒くなり室内で遊ぶ事が多くなってきましたがめばえぐみでは、型はめが大人気です。大きい物は少し前からよく遊んでいたのですが、最近は小さい物にも挑戦するようになり、集中力が長く続くようになってきました。一人の子が始めると隣りに来て座り、同じ型はめを持って遊びはじめます。親指と人差し指で上手に小さいおもちゃを持ち、向きを揃えて入れていきます。

空いている穴に垂直に入れようとして入らないと最初は保育者に助けを求めている事が多かったのですが、慣れてくると自分で穴の開いているタッパーの向きを変えてみたり、ゆっくり狙いを定めて入れられるようになってきています。型はめの種類も増えてきていて、みんな自分のしたいものを持ってきて、「あーけーてー」と言い保育者にタッパーのふたを開けてもらってから遊びを始めていて、自分が楽しくて遊びたいと思う気持ちから、言葉でしっかりと伝えてくれるようになったのがすごい大きな成長に感じます。これからもあそびの中からたくさん話しをして、子どもの気持ちを感じ、また子ども同士の間で真似をして遊ぶ楽しい関わりも大事にしていきたいと思いました。

“よーいどん” “まてまて”



この写真はつぼみぐみの横のテラスで遊んだ時の物です。歩くのが楽しくなってきたいるめばえぐみのみんなは、保育者に追いかけられると、にこにこ笑顔で走って（早歩き）で逃げていきます。また「よーいどん」というと一生懸命早く走って保育者のところまで来てくれます。寒さに負けず、たくさん走って遊んでいます。子どもたちもいっぱい歩ける事が嬉しくて自分で園庭でも探検しています。築山

からすべり台の所まで行って、すべり台の下で待っていている保育者の所まで安心して滑り下りるのを繰り返して遊んでいます。これからお天気の日や温かい日にはたくさん外に出て体を動かして遊びたいと思っています。また子どもの興味に気付き、「したい」という気持ちを大切に見守っていきたいと思います。

“担任の思い”

保育園に来たときに最初は保護者の方と離れる時に寂しそうな顔をしていたり、保育園自体を「ここはどこ？」とまだ状況を把握していない様子のみんなでしたが、最近では保育園で遊ぶのが楽しいようで受け入れの際も保護者の方から笑顔で離れる事が出来るようになっていたり、自分からお部屋に入ってきてすぐ好きな遊びを見つけて遊び始める子が増えてきました。子どもたちにとって不安だらけだった保育園でも楽しく遊んで、楽しくお話しをしていく中で、保育者の私たちの事を信頼して一緒にいて笑顔を見せてくれる事がとても嬉しいです。2016年めばえぐみの子どもたちとたくさん遊んでたくさん笑って過ごしていきたいです。

～ふたばくみ～

ねらい：「季節を感じながら好きなあそびを楽しむ」

う た：「おもちゃのちゃちゃちゃ」 わらべうた「オヤコビネムレ」

冬がやってきたなと感じるようになってきて、寒いときには靴を履いて園庭に出ていきます。お散歩のときには必ず靴を履いて行くからなのか、「おさんぽ?」「こうつうこうえん?」などと質問するふたばさんがたくさんいます。お散歩ではなくても嬉しそうに準備をして、出来ると一目散に築山まで走っていくふたばさんは少しも寒さを感じさせない程元気いっぱいです。



～みんないっしょ～

お友だちとの関わりが増えてきたふたばさん。いつでもお友だちがしていることが気になります。最近園庭で遊び始めたピリポというおもちゃは大人気で、この日も出してみるとみんなが集まりました。中に座るとクルクル、グラグラ揺れて転びそうになるのが面白いようです。すると何人かが亀の甲羅のようにピリポを背負って走って行きました。見ていた他のふたばさんも「待って! いっしょに!」と素早く追いかけていきます。先頭の子も後ろを振り返って「みんな来てるかな?」と確認します。色とりどりの亀さんは先頭のお友だちに付いていって亀さんの行列が出来ていき、最後にはみんなが同じところに腰を下ろして休憩。“隣にお友だちがいる”というだけでニコニコ笑顔のふたばさん。いつものピリポもみんなが一緒だからもっともっと楽しくなりますね。



～色々な音～



おもちゃのフライパン同士を合わせると音が鳴る!と気づいたふたばさん。“叩くと音が鳴るなんて!楽しい!”という思いから始まったのは楽器あそびです。タンバリンと鉄琴を順番が来たら鳴らします。「何の歌がいい?」と聞くといつも「カエルの歌!」と言う程大好きな、この歌。楽器を鳴らす子以外はみんなで歌を歌って小さなミュージカルが始まります。鳴らし方を伝えると上手に楽器を持ち、好きなリズムを刻んでいきます。鉄琴は順番に音階を鳴らしていく子や同じ音を鳴らし続ける子など個性が様々

です。また、急に立ち上がったと思うとパズルコーナーに行き行って持って帰ってきたのは、カエルのパズル。「歌と同じだね」と言う嬉しそうで、そのままパズルを持ちながら歌っていました。「カエル」から連想してパズルのカエルを思い出し、大人は考えないような世界が子どもたちの中では広がっているんですね。色々な音にこれからも気付き、あらゆることを感じながら触れていけたらと思います。

“担任の思い”

少しずつ来年度のことも視野に入れて、お部屋のおもちゃも少しずつ難しいもの・細かいものに変わってきています。ひも通しや絵合わせなど4月のふたばさんでは使わなかったものがたくさん出ていて、みんな成長しているのだなあと嬉しく思います。赤ちゃんのお人形も今では遊び方が変わってきて、前までは抱っこして、おんぶして、と遊んでいたのが、最近ではオムツやお洋服を着替えさせたり、ご飯をスプーンに乗せてお人形に食べさせたりしています。遊び方に子どもの思いがあふれていて、大人が考えるような感情が子どもの中にもあり、子どもも立派な人間なのだなあと学ばせてくれます。これからもふたばさんの傍で一緒に感情を共感していきたいです。

～つぼみぐみ～

ねらい：「自分でできることに自信を持つ」

う た：「ゆき」 わらべうた：「ナコウカ トボウカ」

12月では、つぼみぐみだけで西宮神社にお散歩に行ったり、自分で服を畳んだり、ランチルームでお兄さん、お姉さんとご飯を食べたり、いぶきさんに向けてたくさんの方に挑戦しました。自分の力でできることも増えてきたつぼみぐみ。「できた」が「できる！」の自信に繋がるように、そばで見守っていきたいです。



“ぼく、わたしのドレッサー”

つぼみぐみにドレッサーができました。化粧水や、クリーム、自分専用のクシを用意すると、男の子、女の子関係なく、ドレッサーコーナーは大人気です。

「はい。いらっしゃいませー！」とお友達同士でお話ししながら、美容院ごっこがはじまります。「鏡見てねー。」と言いながら、お友達の髪の毛をクシで梳いてあげたり、化粧水をお顔に付けてあげたり、美容師さんになりきって楽しそうに遊んでいます。なかには途中で病院ごっこになることもあり「ここ痛そうですね。お薬塗りましょうね。」と言いながらクリームを塗ってくれたり、赤ちゃんやぬいぐるみをクシで梳いてあげたり、鏡とにらめっこしながら、いろんな遊びに展開していきます。普段の生活の様子をよく観察するようになってきて、遊びにも変化がでてきました。これからどんな遊びが見られるか楽しみです。



“クリスマスリース作り”

クリスマスに向けて、みんなでクリスマスリースを作りました。ドーナツ型の厚紙に、毛糸をグルグル巻いて、そこに自分で切った紙や、お散歩で拾ったどんぐりを、のりで貼りました。実は少し前から、リース作りに向けて、はさみとのりを使うことに挑戦していたつぼみぐみ。少人数ずつ呼んで一緒にすると、とても上手に使うので、私たちも驚きました。長い紙でも、指で上手にずらして細かく切ったり、1本の指で丁寧にのりを貼ったり、長い時間集中して取り組んでいました。その経験があっただけで、リース作りでは職人のような眼差しで、ひとつひとつ真剣に取り組む、一人ひとりの個性あふれる素敵なクリスマスリースが出来上がりました。是非お家でも一緒に製作を楽しんでも

らえたらと思います。

“担任の思い”

最近では、お兄さん、お姉さんと一緒にランチルームで食事をしたり、自分でできることも増えてきたからか、普段は「トントンしないと寝れない！」と言っていたお友だちが、突然ある日「もうお兄さんやから、一人で寝れるねん。」とお話してくれました。乳児期から幼児期へと心も体も成長していくことが目に見えてわかり、嬉しいような少しさびしいような毎日です。子どもたちの「できた！うれしい！」が増えるように関わっていこうと思いますが、時には甘えて、ホッと一息つけるような時間も大事にしていきたいです。

～いぶきぐみ～

ねらい：「みんなで一緒に遊び、楽しむ」

う た：「どんぐりころころ」「おしょうがつ」

最近のいぶき組は積み木、カプラ、塗り絵、折り紙と登園してから「昨日してた続きしよ」「〇〇くん！昨日の一緒にしよ！」「もっと高くしよ」といろんな玩具がある中、お気に入りの遊びを見つけて継続している子どもも多くなりました。新しく増えたドミノ、ジェンガ、かるたとまたいろんな玩具が増えつつあるのでお友だちと一緒に遊びながら好きな遊びをみつけているいぶき組です。



“お芋鬼ごっこ”

体育あそびで先生に教えてもらったお芋鬼ごっこ。「先生魔女になって」と先生が魔女になるとお芋鬼ごっこのはじまりです。お芋に変身してしまった子に「助けて～」と声をかけると魔女につかまらないように様子を見ながら、お芋をひっぱり一緒に逃げます。捕まえてほしそうな、でもお芋に変身するのはな…と魔女に近寄ってみる子もいます。今では園庭に出る前から「外出たらお芋鬼ごっこしよ！」子どもたちで魔女とお芋役を決めて遊んでいます。

今からもっと寒くなるので身体を動かして元気に遊ぼうね！



“芽はでてくる？” どんぐり絵からクリスマス飾り

どんぐりを植えてから「芽が出てこない…」どうしようかなと考えていると「あ！“どんぐりころころ歌ってみる？”」と先月から歌っていたどんぐりころころを歌うことに。はま、かぜグループに分かれて「どんぐりに歌ってあげる」とどんぐりを前に置いて歌う。元気な声と優しい声「大きすぎてでてこないのかな？」「優しい声でうたってみる？」「こんな声かな？」とお友だちと考える姿も…水をあげている時も「どんぐりころころ～♪」と小さな声で自分のどんぐりにささやいていました。

芽がでてくるまで歌い続けるようです。クリスマスの飾りはどんぐりを使ったどんぐり絵をしました。どんぐり1つ1つに色をつけてコロコロ。どんぐり絵を丸く切ったり、好きな色を塗ったりとどんぐりづくしのいぶき組です。



“担任の思い”

ドミノ、ジェンガは一緒につくる楽しさ、壊れてしまったときの悔しさ「また作ってみよ」「大丈夫、大丈夫」と子どもたちからの前向きな言葉が印象的でした。またしてみようの“挑戦心”から“好奇心”に変化していろんな経験をしてほしいと思います。

お芋鬼ごっこからは、“周りを見る”“お友だちを意識する”ことから子ども同士の関わりが広がればと思います。お友だちとの関わりが増えると思いがなかなか伝わらず、悔しい気持ちになる時もあると思います。その時に言葉で自分の気持ちを伝える大切さを感じてもらえたらと思います。

～ひかりぐみ～

ねらい：「友達と協力することを楽しむ」

う た：「おひさまになりたい」

歌・楽器やお話あそび、側転・逆上がり・跳び箱と新しいことや難しいことへ取り組みようとする意欲が高まっている子どもたち。一人のその気持ちは、クラス全員に伝わるように今では全員が「なんでもやってみよう」という気持ちで毎日過ごしています。担任も置いて行かれないように子どもたちに混ざって一緒に身体を動かして、笑って歌って考えてと忙しいひかり組です。



11月につぼみ組と散歩に行き、ひかり組とつぼみ組のペアを作りました。散歩と一緒にいくときも帰りには、怒って手を繋げなくなったり、少し急いで走ったときには転んでしまったり、ひかり組同士で手を繋ぐよりも難しいということに子どもたちは気付いていました。そこで、12月に入ってからつぼみ組がランチルームに食事をするようになったのです。一人では、ランチルームでどのように動くのかわからないので、ひかり組のペアのお友達と一緒に食事をしてもらうことにしました。ひかり組に「つぼみ組のおてつだい当番がはじまるよ」と伝えると子どもたちは、だいち組がお世話当番をしていることに憧れを抱いているひかり組は大喜びでした。1日に2人ずつつぼみ組のご飯に時間に合わせてはやくに食べています。一緒に手を洗い、消毒をして、椅子を出してあげています。一つひとつのことを丁寧に教えてくれています。少し離れるときには「座ってまってね」と優しく声をかけています。食事中は、ひかり組も一生懸命たべているので今のところは、会話は少なくお互い黙々と食べています。ある程度食べると「小さく切ってあげようか」「おやさいたべられる」と聞いてくれています。お世話をしてあげながら自分のことは難しいようで、お世話をしているかと思いきや実は、つぼみ組の方が先に食べ終わっていたりして、まだまだお手伝いは、初めてで、「行こうといってもきてくれない」と困った話も教えてくれます。その度に一緒に考えてお手伝い上手になってくれたらいいなと楽しみにしています。甘えてくれたり、頼ってもらえる嬉しさなどを味わいお姉さん、お兄さんのひかり組になっていってくれるでしょうか。お手伝い当番の悩みなど保護者の方からもたまに聞いてあげてください。お母さんも同じことに困った話を聞くと自分たちの小さかった頃のことを知る機会にもなります。自分たちもお兄さん、お姉さんにお手伝いをしてもらってできるようになったことがあると気付くときかもしれませんね。

ひかり組の子どもたちに自分ができること、難しいことに気付いてほしいという思いもあってつぼみ組とのペアでの活動が始まりました。運動会でパラバルーンをいぶき組と一緒に成功させたことが大きな自信になったようで様々な活動の中での意欲が以前にも増して高まりました。ですが、それと同時に「全部わかってる」「何でも知ってる」という気持ちがでてきました。体育あそびなどでも最初の冒頭を聞いて勢いよく返事をして、後半の話が抜けてしまって先生が伝えたことと全く違う活動をしてしまっていることも実は最近ありました。お手伝いなどを通じて、「簡単と思っていたことが難しかった」「できると思っていたのにできなかった」など気持ちの面では複雑なこともあると思います。ですが、わからないときにどうすれば良いのか。など、一つひとつ自分の目の前の壁を乗り越えるために『考える』機会を沢山経験してほしいです。何でも答えを教えるのではなく、子どもが答えを見つけられるように導くことの難しさを日々感じている最近です。

～だいちぐみ～

ねらい：「友だちとイメージを共有し、あそびを広げる」

う た：「もちつき」

やっとのことで冬らしい気温になってきた 12 月ですが、子どもたちは毎日「お外であそびたい!」「おにごっこしよ!」と外あそびも元気に楽しんでいます。室内あそびでは、少し前からアイデアが出ていた“パン屋さん”を開店しました。だいち組の子が中心となり、何が必要かどうすればお客さんが来てくれるかと考え、手作りパン屋さんがオープンすると大行列!! お客さんとしてやって来てくれたいぶきさん・ひかりさんともやりとりを楽しんでいます。



“やってみよう”

今年も一番目立つ場所にツリーが登場し、飾りをどのようなものにするのか悩んでいると、「じゃあきんきらので四角を作って、それから紐をつけたらいいと思う」と一人の子が提案してくれました。プレゼントの箱を想像したのだと思います。四角…今のだいち組で作れるもの…そう考えていた時、以前くす玉の折り方を卒園児のお兄さんに教えてもらい、熱中していた時の姿を思い出しました。「くす玉、作れる人いる?」と尋ねてみると、4人ほど手が挙がりました。そう多くはいないものの、これは友だち同士で教えあえるチャンス!と、かぜグループに一人、はまグループに一人、“くす玉先生”をお願いして折り紙でくす玉を作ることにしました。

教える側の子もどのように伝えたらいいのか分からず、ひたすら自分のペースで折り始めていたのですが、「お友だちは、まだそこまで進んでないよ。」と声をかけるとはっと気づき、友だちが出来るまで待ってくれるようになりました。しばらくすると、グループ全体に「みなさん、出来ましたか～」と声をかけ、周りの子も「まだでーす」と明るい雰囲気にくす玉作りが進んでいきます。

しかし「出来ない～やって～」とポツリポツリ呟きながらも、なかなか自身で折ろうとしない子もいましたが、敢えて声はかけずに見守ってみることにしました。

そのうちに、出来上がったパーツを組み合わせて、四角いくす玉を完成させる子が一人、二人と出てきました。すると完成を喜ぶ子の姿に刺激を受けたのか、それまで自分では折ろうとしなかった子も自ら制作 BOX の中から取り出し、黙々と折り始めたのです。

「もう、出来ない!」と頭を抱えながらなかなか出来ないことに苛立ちを見せていましたが、誰に任せるわけでもなく、“自分の力でやってみよう”という気持ちが見られました。

その一生懸命な姿に最後は担任も助け舟を出しましたが、完成した時には「あー良かった。出来て本当に良かった」と達成感のようなものを感じていました。それからは、だいち組の中ではくす玉作りが流行りつつあります。大人が見ても難しいものを「かしてごらん、ほら」と作ってみせる子もいたり、少し難しい折り紙にも挑戦中。同じ折り紙でもかぶと虫作りに夢中になっている子もいます。



“担任の思い”

友だち同士で助け合うことも一つ、だいち組の子どもたちにとって必要なことだと思います。ですが、大人が声をかけたり友だちに手伝ってもらえば少しは完成に近づくかもしれませんが、くす玉一つにしても、その子にとってのねらいは“くす玉を完成させること”ではなく、“自分で取り組み、最後まで頑張ること”少し難しいことにも挑戦することで、出来た時の喜びは大きかったのだと思います。もちろん、くす玉先生をお願いした子にはまた別の想いがあり役割を頼みました。それぞれ性格が異なるように、必要とする周りの関わり方も変わってきます。その子自身が自分の良さや苦手な部分に向き合えるよう、保育者も理解し受け止める広い心を持っていたいと思います。

[保護者の方からのおはなしコーナー]

子どもたちのお家での様子が聞けたり、保育園での様子をお父さんお母さんにお話をしてくれているのだなあと嬉しく思います。



今年の4月から入園しました。初めは体調不良で長期欠席が続き、園に慣れるまでは時間が掛かりました。朝の登園の時には大泣きし、力の限り私たちにしがみついていた息子が、運動発表会では一人堂々とサーキットをしている姿に感動しました。

また、今まで担任の先生方を「〇〇（自分）の△△先生」と言っていたのですが、先日から「みんなの△△先生」と言うようになりました。息子が、たくましくなった瞬間でした。これからもそんな瞬間を見逃さずに見守り続けたいと思います。毎日息子の様子を観察し、その都度関わり方を考えて下さっている先生方に本当に感謝しています。

ふたば組 よういち・さなえさん

最近は特に家でいろいろな歌を歌うようになりました。でも1曲歌の中に色々な曲が混ざっており、「ん？何の曲だっけ？」と思わずお兄ちゃんと顔を見合わせて笑ってしまいます。訂正をしても、「ちがうよ〜」と自信満々で歌ってくれる様子を見て、やっぱり先生方がおっしゃるように「なんか面白い子なんだなあ〜」とほほえましく成長を感じています。

つぼみ組 じゅんこさん

最近文字や絵を描くのが大好きな息子。家に帰ると自由帳を取り、自分の名前や絵などを楽しそうに書き、出来上がると得意気に見せてくれます。

まだひらがなも正確に書けない文字もあり、さかさまだったりしますが、今だけの間違いだと微笑ましく思います。

ひかり組 まさこさん

遊ぶ時は男の子に負けないくらい元気いっぱい娘ですが、でもちょっぴり怖がり屋さん。自分一人では行けないところがあれば、「ねー、一緒に行ってあげるよ」とお姉さん口調で弟を上手に誘っています。

保育園で過ごす間に、ひとりではできない事でもお友だちと一緒にならできる！！ということを学んだようです。身体だけでなく、人との関わりを通して、心も成長しているんだなあ実感し、嬉しくなりました。

ひかり組 とみこさん



～お台所から～

あっという間に新しい年がやって来ました。

先日、子ども達にご飯のお話しをしました。その日のメニューはカレーうどん。

「カレーうどんの出汁はかつおと昆布で取っているんだよ。」と言うとだいち組の子どもが「先生、それってお泊り保育の時のおでんのお汁と同じやね。」と言ってくれました。お話の時間は週に1回 10分程度ありますが、子ども達にちゃんと伝わっているのか不安がありました。お泊まり保育の時も出汁の話をしていましたが、覚えてくれているかな?と想っていた時にだいち組の子どもからかつお昆布だしの話が出てきてとても嬉しかったです。

子ども達の中に少しでもご飯のお話が残っていてくれてやっていて良かったな。と思いました。2015年は1年かけて色々なご飯の話をしてきました。2016年も食育の一環として子ども達に残っていくような時間を持ちたいなと思っています。2016年も昨年以上に愛情たっぷりの食事を子ども達に提供します!

かえで保育園では、かつお昆布だしを毎日使っています。

先日、おもちつき大会にご協力頂いた保護者の方から、「おもちつきの時に食べた五目汁が美味しかったのでレシピを知りたい」とリクエストを頂きました。

もちろん、五目汁にもかつお昆布出汁を使用しています。

1月はリクエストにお応えして、五目汁のレシピを紹介したいと思います。



※このレシピは切り取ってお使いください。

✂ 切り取り

人気メニュー
紹介

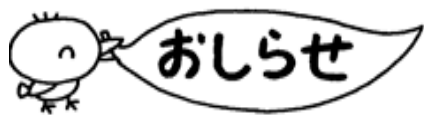


材料

鶏もも肉	100g (10gにカットしたもの)
大根	1/4 (いちょう切り)
人参	1/4 (いちょう切り)
ごぼう	1本 (薄切り)
油揚げ	2枚 (お好みの大きさ)
板こんにゃく	1/4丁 (お好みの大きさ)
葉ねぎ	お好みの量 (小口切り)
かつお昆布出汁	4000ml
薄口醤油	100g
食塩	小さじ1
ごま油	大さじ1

作り方

- ①鶏もも肉、大根、人参、ごぼう、板こんにゃく、葉ねぎは切っておく。
 - ②かつお昆布出汁は多めに取っておく。
⇒煮詰まって味が濃くなってしまった時に、多めに取った出汁で味を調節する。
 - ③板こんにゃく、ごぼうは一度茹でて、アクを取っておく。
 - ④かつお昆布出汁に大根、人参を入れて一旦出し汁を沸かす。
 - ⑤大根、人参に火が通ったらアクを抜いた板こんにゃく、ごぼうを入れて沸かす。
 - ⑥⑤が湧いたら、鶏もも肉、油揚げを入れて、鶏もも肉に火が通るまで出汁を沸かす。
 - ⑦最後に薄口醤油、食塩で味を付ける。★ごま油は食べる前にまわし入れると美味しいですよ。
- ★野菜の水分の量によって調味料の量に多少の変化はあると思いますが、多めに取った出し汁で調節して各家庭の味を出してみてくださいね♪



- 新年の保育は1月4日（お弁当日）からです。
- 1月15日（金）は浜脇小学校津波訓練です。4・5歳のみ参加します。
- 1月23日（土）は西宮市民間保育園職員研修会があります。保育は、就業の方のみ13時までの保育となります。ご協力、お願いいたします。
- 1月30日（土）は成長発表会です。繰り合わせご出席ください。また、会が終了後保育終了です。
- かえでカフェ19日・26日歌の練習をします。時間は16:30～と17:30～です
また、リボンの製作のお手伝いをお願いします

- 入室の際、必ず手指の消毒を励行してください。12月下旬に感染性胃腸炎がでました。体調が思わしくない場合、無理をせず、からだを休めるようにしてください。
- 伝染性の感染症の場合は、たいせつなことに記載している手順を確認し、登園許可書を提出し、登園するようお願いいたします。
- 0・1歳児は日差しが暖かい日は外遊びにできます。2歳・幼児は毎日園庭や園外にも出かけます。園用の薄手の上着をご用意ください。（ダウンジャケットは登降園のみ）

こんなことしたよ♪

12月4日（金）はおもちつきがありました。お父さんやおじいちゃんがお餅をついているすぐそばで、杵の動きに合わせて「よいしょ！」と声を合わせて応援しました。そして、つきたてのお餅をお母さんたちに丸めてもらい、好きな味付けにしてみんなで美味しくいただきました。だいち組は実際に杵を持って自分でお餅をついたりし、いつもは出来ないような経験をしました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



12月8日（火）は移動動物園がやってきました。可愛らしいウサギや、ブタ、ヤギやヒツジなどたくさんの動物に、どの子も目を輝かせながらふれあえました。最初はその大きさにびっくりしていましたが、ポニーの背に乗せてもらったり、動物にえさをあげたりしました。小さなウサギやモルモットを「かわいいね」となでている姿やはとても微笑ましく、優しい気持ちになれました。たくさん野菜を持って来て下さり、ありがとうございました。



* 今月の予定 *

- 4日（月）保育開始
- 6日（水）**絵画（いぶき・ひかり）**
- 12日（火）音楽
- 15日（金）震災訓練
- 18日（月）月例健診
- 20日（水）お誕生会
絵画（だいち）

- 30日（土）成長発表会
1部 9:15～10:50
2部 11:00～12:30
*発表会終了後の保育はありません

※発表会に向けての練習をします。9:30までに登園してください。

※ウェルネスの体操は基本木曜日に行います。

※ウェルネスの体操は1月28日振り替え、**1月8日**になります。（7日・8日ともあります。）

2・3月の予定

- 2月10日（水）だいち組・ひかり組で雪あそびに行きます。ご準備よろしくお願ひします。
- 3月4日（金）は酒蔵見学です
- 3月19日（土）は卒園式です。保育はありません。
- 3月26日（土）28年度の準備のため、家庭保育のご協力をお願いいたします。

